

令和3年度 小林市立野尻中学校 学校関係者評価書

【学校の教育目標】

未来を生き抜くための確かな学力、豊かな心、  
たくましいからだをもった子どもの育成

【学校経営ビジョン】

「自立と自律」「感謝」「貢献」をスローガンに、学校・家庭・地域が一体とな  
って活力ある教育活動を推進することにより、学校教育目標の具現化を図り、  
信頼される学校づくりに努める。

《評価：4段階評価》

- 4 期待以上
- 3 ほぼ期待どおり
- 2 やや期待を下回る
- 1 改善を要する

項目	本年度の重点目標と目標達成のための手段	結果の考察・分析及び改善策等	自己評価	関係者評価	学校関係者評価のコメント
知育	<p>○授業力の向上と学力の向上</p> <p>① 相互参観授業の積極的な実施を行い、Web 学習、ICT の有効活用を図る。(年2回の研究授業、Web 学習、ICT 活用)</p> <p>② 生徒指導の三機能を生かした授業を行い、学習規律の徹底を図る。</p> <p>③ キャリア教育の充実を図り、将来を見据えた主体的学習態度の育成を図る。(学びたい度 60%)</p> <p>④ 英語検定・漢字検定などの検定取得率を高める。</p>	<p>① 全職員で共通理解を図りながら、共通実践することができた。ICT活用については、全職員が活用できる単元では積極的に活用している。</p> <p>② 昨年度から話し合い活動の約束事を各教科で取り入れたことにより、スムーズな話し合い活動ができるようになった。授業中の基本的な学習習慣はほとんどの生徒が身に付けており、落ち着いた授業態度である。家庭学習の充実が徹底できるようになるとさらに学力の向上につながる。と考える。</p> <p>③ 各学年の発達段階に応じて、計画的に進めることができた。しかしながら、将来の夢や目標について描こうとする力に個人差がある。(学びたい度55%)</p> <p>④ 英語を苦手とする生徒が多かったが、英語科を中心に個に応じた手立てを粘り強く講じたため、学力が数段向上した。 英検を延べ147名が受験(3回受験)し、1年生40名、2年生32名、3年生27名が準2級～5級に合格。(合格率67%)</p>	①3,5 ②3,2 ③3,2 ④3,7	3,4	<p>○ICTを活用した授業に関する生徒アンケートで、昨年の66%より多い全校生徒の86%が「はい」と回答しており、先生方の積極的な取組が伺えます。ICTを活用した多様な学習による学力の向上とともにICTへの関心を高めることで子どもたちの可能性を引き出すきっかけの一つになってほしいと思います。</p> <p>○将来の夢や目標を描くために、これからも様々な情報の提供をお願いします。</p> <p>○毎年、数学と英語を苦手とする割合が高く、中で、英語に関しては割合が下がっており学校評価ある学校の取組の成果が表れているものと思います。</p> <p>○タブレットや英語等、ここ数年で教育内容に重要だと言われていますが、子どもが苦手意識をもってしまうと高校ではもっとレベルが高くなるので、小中学生の内から少しでも理解すれば進学や将来の幅が広がるので頑張ってもらいたい。</p> <p>○コロナが落ち着き職場体験学習が実施できれば、夢や目標を描けるのではないのでしょうか。</p> <p>○多くの生徒が検定試験に挑戦されていて素晴らしいと思います。</p>
徳育	<p>○心の教育と生徒指導の充実</p> <p>⑤ 全教育課程を通しての人権教育の充実を図る。(いじめ解消100%)</p> <p>⑥ SC、SSW と連携した教育相談体制を整備し、不登校や配慮を要する生徒の支援体制の充実を図る。(不登校傾向を1名以上減少)</p> <p>⑦ 「凡事徹底週間」を中心に規範意識の高揚を図る。</p> <p>⑧ 読書活動や各種コンクール等への積極的な参加(作文、詩、短歌等)</p>	<p>⑤ 学校生活アンケートを毎月実施し、実態把握に努め教育相談も定期的に行った。現在いじめは「ゼロ」と認知しているが、生徒から発されるSOSを見逃さないよう、全職員でアンテナを高くして気を配ってきたい。</p> <p>⑥ 毎週「生徒理解」の時間を設定し、全職員で共通理解を図った。学級担任も保護者と連絡を密にしながら登校を促したが改善には至らなかった。(ただし完全不登校の生徒1名が週1回の登校を継続中)</p> <p>⑦ 今年度も「ロッカー整理」「自転車整理」「立ち止まり挨拶」「靴箱の整理」を重点的に取り組み、生徒自身の意識が高まってきている。</p> <p>⑧ 年間4,500冊の貸し出し目標を掲げ、図書担当が様々なイベントを実施した。目標達成には至らなかったが、昨年を上回る4,000冊を超えた。また、短歌と詩を中心に新聞投稿に取組、多くの生徒の作品が掲載された。</p>	⑤3,1 ⑥3,3 ⑦3,5 ⑧3,7	3,6	<p>○道徳の時間に生徒が「真剣に考えている」という割合が例年より非常に高くなっており学校や生徒会の取組によるものと思います。互いを高め合う心の醸成は不可欠であり継続的な取組をお願いします。</p> <p>○いじめゼロが継続できるよう今後も取り組んでもらいたいです。</p> <p>○先生方の対応に感謝します。不登校生徒の解離に向けて引き続きの対応をお願いします。</p> <p>○不登校問題は、一步一步進めていくしかないと思います。</p> <p>○学校や家庭だけでなく地域でも見守りを行い、生徒のSOSを見逃さないよう気を配りたいです。</p> <p>○決めたことを継続していくことで「気づき」につながり、やがて「行動」に表れてくるものだと思います。</p> <p>○我が子でも経験しているいじめ・不登校の防止は学校の教育では必ずあることですね。子どもの意見を聞きつつ、かといって子どもの言うことだけをしてしまうと、高校・社会に行ったとき、さらに大きな問題に立ち向かわなければならないので、いろんな方向から案を出し合って学校全体で理解してもらえると親も相談しやすいですね。</p> <p>○新聞で多くの生徒さんの作品を見ました。とてもうれしく思います。</p> <p>○本を讀むことで読解力がつくと思うので、このまま頑張ってもらいたい。</p>
体育	<p>○体力の向上と健康安全の充実</p> <p>⑨ 体力向上プランに基づく授業・部活動を通して、体力向上を図る。</p> <p>⑩ 体力テストのDE段階の割合10%以下を目指す。</p> <p>⑪ 安全教育、防災教育、避難訓練等の充実を図り、安全意識の高揚と危険回避能力の育成を図る。</p> <p>⑫ 健康への意識高揚を図り、健康管理能力を高める。(虫歯治療率100%、肥満10%以下)</p>	<p>⑨ ここ数年、体育の授業ではブラジル体操を取り入れ、種目によって補強運動も行っている。その成果として、宮崎県教育委員会より「体力賞」を受賞した。</p> <p>⑩ 毎時間の保健体育での補強運動や部活動でのトレーニングの効果から、体力テストDE段階の割合は4,5%で数値目標を達成することができた。</p> <p>⑪ 本年度は、火災を想定した避難訓練において、初の試みで「濃煙体験」を実施した。実際に体験したことで、煙の怖さを実感した生徒が多く有意義な訓練となった。</p> <p>⑫ 個別指導や家庭との連携を図り、虫歯治療率が86,0%、肥満率11,5%と数値目標達成には至らなかったが健康への意識が高まってきている。</p>	⑨3,7 ⑩3,3 ⑪3,6 ⑫3,6	3,4	<p>○いろいろな取組によって数値目標を達成されており評価できることだと思います。体力向上と健康増進の取組をお願いします。</p> <p>○コロナ禍で制限される中、体力が落ちることなく目標達成されているので努力の成果だと感じました。</p> <p>○同じ内容になりがちな避難訓練において、「濃煙体験」で煙の怖さを実感したことは本当に有意義な訓練だったと思います。</p> <p>○数値目標を達成できていない意識は高まっているということであり継続的な取組をお願いします。</p> <p>○「体力賞」素晴らしいですね。以前から野中も素晴らしいので継続されていることがさらにいいことですね。</p> <p>○今後も防災教育はよろしくお願いします。</p> <p>○口腔ケアが身体にも重要なので虫歯治療率100%を子どもも意識してほしいですね。</p> <p>○虫歯や肥満の問題は家庭の協力が不可欠のため連携を図って100%達成を目指してほしいです。</p>
食育	<p>○食育の充実</p> <p>⑬ 朝食摂取率95%以上を目指す。</p> <p>⑭ 給食指導や「弁当の日」の取組を充実させることで、食と健康への意識を高め、感謝の心や豊かな食習慣を育成する。</p> <p>⑮ 残食率10%以下を目指す。</p>	<p>⑬ 朝食摂取率は97,9%と昨年度を上回り、数値目標も達成できた。保健主事からの「保健だより」の配付や個別指導などの効果があったといえる。</p> <p>⑭ 弁当の日は、生徒に取組み方のコースを選択させ、2回実施した。また、給食感謝週間を設定し、「食への大切さ」「健康のありがたさ」「食に関わる多くの人のおかげで食べられること」を改めて考え、感謝して食べることや食を大切にす気持ちをもたせた。</p> <p>⑮ 残食率は4月～1月までの10か月間でわずか0,1%であった。生徒会のNS DGsの取組の成果もある。</p>	⑬3,5 ⑭3,8 ⑮3,8	3,9	<p>○「保健だより」や個別指導により数値目標を達成しており評価できることであり家庭の協力を得ながら継続した取組をお願いします。</p> <p>○目標数値を大きく上回っており、生徒会の活動やそれを支援する学校の取組は大きいと評価できます。</p> <p>○本校の食育は伝統的な強さがあるみたいですね。さらなる向上をお願いします。</p>
次年度の方向性についての校長所見		今年度もコロナ感染拡大の影響を受け、教育課程を修正しながら教育活動を展開した。次年度もコロナの影響は多少なりともあると想定しながら、「学びを止めない」ことを念頭に教育活動をすすめていきたい。また非常時を想定しICT端末を活用した遠隔授業の展開も準備しておきたい。そして本校のスローガンである「自立と自律」「感謝」「貢献」の実現に努めていきたい。			